

## あとがき

### 〈編集顧問〉

太田 保世  
諏訪 邦夫  
堀江 孝至

### 〈編集委員〉

和泉 徹  
小川 聡  
巽 浩一郎  
永井 良三  
橋本 修  
平山 篤志  
三嶋 理晃

### 〈編集協力委員〉

赤石 誠  
赤柴 恒人  
北風 政史  
近藤 哲理  
中沢 潔

(五十音順)

最近、病棟を回診していると肺高血圧症の患者が増えてきたことに気付く。従来のプロスタグランジン製剤に加えて、エンドセリン受容体拮抗薬やPDE阻害薬が90年代から相次いで臨床応用され、治療の選択の幅が広がったためである。また、PDGF受容体拮抗薬であるイマチニブも肺高血圧症に有効であることが2005年に報告され、昨年から世界同時治験も開始された。その他にも新しい治験が次々と進められている。実際、3者併用療法により肺動脈圧が著明に低下する症例もあり、これまで難治とされてきた肺高血圧症のイメージは変わりつつある。また、肺高血圧症の様々な病態も明らかにされており、病態に応じた治療法の選択も行われる日も近いと期待される。

肺高血圧症の基本病態は低心拍出量と右心不全である。肺血管抵抗の上昇は右室負荷から右心不全を来す。極度に拡張した右室が左室を圧迫すると、左室機能も障害される。いずれにしても右室負荷を早期に見つけることが重要だが、心電図による右室肥大の見落としが目につく。右軸変異を伴う右脚ブロック様の波形や、右軸変異がなくとも左側胸部誘導でS波が深いときは要注意である。最近ではコンピューター診断が普及したが、右室肥大の診断精度は低い。そのため専門医でも典型的な右室肥大を見落としていることがある。心エコーを検査すれば右室圧の評価は可能だが、やはりスクリーニングとしては心電図診断であろう。すでに研究し尽くされた感のある心電図ではあるが、もう一度、見直しが必要である。その意味で、肺高血圧症は古くて新しい問題であり、新たな挑戦をぜひ期待したい。

(永井良三)

## 呼吸と循環(第60巻 第1号)

2012年1月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

2012 年年間購読料  
 冊子版 32,400 円 冊子+電子版/個人 37,400 円  
 冊子+電子版/共有 42,300 円  
 電子版/個人 32,400 円 電子版/共有 37,300 円  
 (税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。